

平成 29 年 度

事 業 報 告 書
決 算 報 告 書

(自 平成 29 年 4 月 1 日)
至 平成 30 年 3 月 31 日)

東京土木施工管理技士会

はじめに

会員各位のご支援・ご協力により、平成 29 年度事業が計画どおり遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

当会は、今年度、会員の技術力向上、若手技術者の育成に重点を置き、各種講習会・研修会を24回開催し、施工管理技士資格取得支援事業として、1 級土木施工管理技術（学科・実地）検定試験に加え、新たに 2 級土木施工管理技術（学科・実地）検定試験の受験準備講習会を開催いたしました。

また、広く学生や都民の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、「一般向けの土木施設見学会」の実施、学生向け合同企業説明会イベント「みんなの建設業☆業界研究フェスタ」を実施いたしました。

さらに、会員が施工する工事現場の視察、異業種等施設の視察など、各種見学会を実施し、土木技術者の技術力向上の支援に努めてまいりました。

このほか、機関誌「DOBOKU 技士会 東京」を発行いたしました。

平成 29 年度

事業報告書

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会の実施

講習会・研修会を全 24 回開催した。うち、技士会単独開催を 8 回、(一社)東京建設業協会等との共催を 16 回開催。また、今年度新たに 2 級土木施工管理技術検定 学科試験・実地試験 受験準備講習会を実施した。

①若年技術者のための支援

- ・新入社員研修会〔共催〕 4月4日～5日
- ・若手技術者コミュニケーション能力強化研修会〔共催〕 7月12日
- ・新入社員半年フォロー研修会〔共催〕
10月18日、10月24日、11月8日
- ・若手社員(3年次～5年次)フォロー研修会〔共催〕 11月7日
- ・若手技術者施工技術基礎講習会 11月28日

②土木施工管理技士資格取得のための支援

- ・1級 学科試験 直前受験準備講習会 2日間講習〔共催〕
6月2日～3日
- ・1級 実地試験 受験準備講習会 2日間講習〔共催〕
9月7日～8日、9月9日～10日
- ・2級 学科試験 受験準備講習会 2日間講習〔共催〕
9月19日～20日、9月22日～23日
- ・2級 実地試験 受験準備講習会 1日講習〔共催〕
9月21日、9月24日

③基礎的な技能習得のための支援

- ・安全管理講習会 4月25日
- ・コンクリート施工技術講習会〔共催〕 8月22日
- ・環境管理講習会 9月20日
- ・仮設構造物の設計講習会 10月4日

- ・ 橋梁維持管理基礎講習会 10月20日
- ・ 建設業法等講習会 2月23日

④総合的な技能習得のための支援

- ・ 現場代理人の折衝力強化研修会〔共催〕 4月21日
- ・ 現場管理スキルアップ講習会 5月25日
- ・ i-Construction と工事成績対策講習会 2月9日

⑤経営者のための支援

- ・ 建設業取引適正化説明会〔共催〕 11月29日

(2) 土木工事現場の視察

土木技術者の技術力向上を図るため、会員会社の協力を得て、土木工事現場の見学会を2回開催した。

- ・ 川崎港臨港道路東扇島水江町線主橋梁部 (MP3) 橋梁下部工事 7月6日
- ・ ハッ場ダム工事 9月5日

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

- ・ 「ブリヂストン横浜工場 免震館」見学会 9月27日

2. 広報事業

(1) 若年者への魅力ある建設業のPR

若年者への建設業のPRと会員企業の人材確保の一助となるよう主に大学生を対象に業界研究イベントを東京建設業協会と共催した。

- ・ 「みんなの建設業☆業界研究フェスタ」開催〔共催〕 2月15日

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

- ・ 神田川環状七号線地下調節池見学会 10月12日

・わくわく・すいすい「水辺探検」への協力 8月19日、8月26日

(3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU技士会 東京」を年4回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。

- ・第69号（平成29年4月）
- ・第70号（平成29年7月）
- ・第71号（平成29年10月）
- ・第72号（平成30年1月）

(4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内をはじめ、メールとホームページを活用して情報を提供し、利便性の向上を努めた。

3. 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入先調査などを実施した。

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

4. 表彰

(1) 優良技術者表彰の実施

会員から推薦された優良技術者95名を表彰した。

(2) 各種表彰候補者の推薦

優良技術者の中から5名を（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

5. 連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、(一社)東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

6. 会議

- (1) 総会

定時総会 5月23日

議決事項

- ① 平成28年度事業報告並びに同決算報告に関する件
 - ② 平成29年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件
- 優良技術者表彰 95名

- (2) 理事会

第1回 5月23日

- ① 平成28年度事業報告並びに同決算報告に関する件

第2回 3月19日

- ① 平成30年度事業計画(案)に関する件
- ② 平成30年度収支予算(案)に関する件

- (3) 監事会

4月13日

- ① 平成28年度事業報告に関する件
- ② 平成28年度決算報告に関する件

7. 委員会

- (1) 総務委員会

第1回 12月15日

- ① 平成 29 年度 会員の異動状況と収入状況について
- ② 平成 29 年度事業の実施状況について
- ③ 平成 29 年度事業の今後の予定について

第 2 回

3 月 13 日

- ① 平成 30 年度事業計画（案）について
- ② 平成 30 年度収支予算（案）について
- ③ 今後の予定について

(2) 事業運営委員会

第 1 回

12 月 8 日

- ① 平成 29 年度事業の実施状況について
- ② 今後の事業予定について
- ③ 優良技術者表彰について
- ④ みんなの建設業☆業界研究フェスタについて

第 2 回

3 月 7 日

- ① 平成 30 年度事業計画（案）について
- ② 平成 30 年度優良技術者表彰について

- ・ 講習会グループ会議 11 月 16 日、2 月 22 日
平成 29 年度講習会事業の実施状況、平成 30 年度講習会事業などを協議するため開催した。

- ・ 現場視察グループ会議 4 月 20 日
平成 29 年度現場見学会候補地選定をするため開催した。

- ・ 情報・広報グループ会議 6 月 20 日、12 月 5 日、2 月 5 日
機関誌「DOBOKU 技士会 東京」、合同企業説明会、異業種他分野各種施設見学会及び一般向け施設見学会候補地などを協議するため開催した。

平成 29 年度

決算報告書

収 支 計 算 書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
会費収入		34,100,000	33,100,000	1,000,000	97.1%
	個人会費	400,000	260,000	140,000	
	法人会費	32,700,000	31,840,000	860,000	
	賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	
入会金収入		200,000	9,000	191,000	4.5%
	入会金収入	200,000	9,000	191,000	
事業収入		4,200,000	3,961,888	238,112	94.3%
	講習会収入	4,200,000	3,961,888	238,112	
雑収入		300,000	26,071	273,929	8.7%
	雑収入	300,000	26,071	273,929	
当期収入合計 (A)		38,800,000	37,096,959	1,703,041	95.6%
前期繰越収支差額		9,320,000	9,145,531	174,469	
収入合計 (B)		48,120,000	46,242,490	1,877,510	96.1%

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
事業費		29,050,000	28,394,699	655,301	97.7%
	給料手当	10,500,000	10,468,909	31,091	
	福利厚生費	1,560,000	1,513,270	46,730	
	旅費交通費	50,000	42,140	7,860	
	通信運搬費	1,050,000	903,613	146,387	
	会議費	1,150,000	1,074,422	75,578	
	講師謝金	1,500,000	1,434,720	65,280	
	研修講習費	2,100,000	2,029,662	70,338	
	資料印刷費	2,000,000	1,960,232	39,768	
	調査視察費	900,000	804,380	95,620	
	広報費	4,600,000	4,523,600	76,400	
	行事費	1,800,000	1,814,326	△ 14,326	
	負担金	1,790,000	1,796,000	△ 6,000	
	雑費	50,000	29,425	20,575	
管理費		9,060,000	8,812,542	247,458	97.3%
	給料手当	3,200,000	3,162,542	37,458	
	福利厚生費	720,000	652,586	67,414	
	旅費交通費	50,000	39,000	11,000	
	通信運搬費	400,000	320,869	79,131	
	備品消耗品費	350,000	346,195	3,805	
	賃借料	1,450,000	1,414,608	35,392	
	水道光熱費	560,000	552,000	8,000	
	総会費	2,300,000	2,292,536	7,464	
	雑費	30,000	32,206	△ 2,206	
引当預金支出		1,000,000	400,205	599,795	
	退職給与引当預金支出	1,000,000	400,205	599,795	
積立預金支出		1,000,000	1,000,000	0	
	記念事業基金	1,000,000	1,000,000	0	
予備費		3,000,000	0	3,000,000	
	予備費	3,000,000	0	3,000,000	
当期支出合計(C)		43,110,000	38,607,446	4,502,554	89.6%
当期収支差額(A)-(C)		△ 4,310,000	△ 1,510,487	△ 2,799,513	
次期繰越収支差額(B)-(C)		5,010,000	7,635,044	△ 2,625,044	

(C) - 積立預金支出 = (ア)	37,607,446
(A) - (ア) = 実質的な当期収支差額	△ 510,487

監 査 報 告 書

会則第 27 条により、平成 29 年度の事業報告書、収支計算書、
正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録を関係諸帳簿及び証憑
書類と対照監査したところ、いずれも適正かつ正確に処理されてい
ることを確認しました。

平成 30 年 4 月 17 日

東京土木施工管理技士会

監 事 佐々木 日出幸

監 事 長 野 茂 樹

監 事 奈良岡 茂